

かたの民報

議会版

2013年11月3日
NO. 1584

【発行】
日本共産党
市会議員団
ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎893-6785



さかの 光 雄
私部 1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835

交野市
平成24年度

交野市一般会計決算

基金(積立金)が43億円 市民の福祉・教育・防災に使うべき

10月15～21日、平成24年度の決算特別委員会が開かれました。日本共産党から、さらがい議員が出席し「43億円もの基金を、市民のくらしに必要な事業に活用すべき」と求めました。

平成24年度の一般会計は2億3837万円の赤字で、10年連続の赤字決算となりました。(表3)
基金(積立金)は、前年比で9億2616万円積み増し、基金残高は約43億円となりました。(表1)

表1 ■基金残高の推移 (円)

年度	基金残高
平成 20	25 億 2734 万
平成 21	29 億 7254 万
平成 22	33 億 2508 万
平成 23	34 億 1184 万
平成 24	43 億 3800 万

これは、第二次財政健全化計画(平成22～27年度)で、「基金を15億円以上残す」とした目標を、大幅に上回るものです。
市の財政状況は、ゆうゆうセンター建設時の公債費がほぼ終了したことなどにより、実質公債費比率、経常収支比率なども改善しています。(表2)
日本共産党は、「市の財源を市民のくらしのために使い、財政健全化計画で削減された福祉施策を復活・充実すべき」と求め、決算認定に反対しました。

表2 ■財政状況の推移

	平成 24	平成 23	平成 22
実質公債費比率(%)	15.5	16.6	16.6
経常収支比率(%)	91.6	95.1	96.5

※実質公債費比率…収入に対する負債返済の割合。数字が低いほど健全。

※経常収支比率…収入のうち、人件費・公債費など、経常的に支出が必要な経費の割合。数字が低いほど健全。



表3 ■平成24年度 会計別決算総括表

(単位:千円)

会計名	歳入	歳出	実質収支
1. 一般会計	23,398,234	22,989,138	238,376
2. 国民健康保険	7,927,929	7,901,240	26,689
3. 下水道事業	1,948,899	1,986,284	△38,685
4. 介護保険	4,399,527	4,376,824	22,703
5. 公共用地先行取得事業	195,577	195,577	0
6. 後期高齢者医療	928,571	873,580	54,991
合計	38,798,737	38,322,643	304,074



■ゆうゆうバスの乗車人数(年間)

年度	倉治・郡津コース	星田コース	合計
平成 23	51,941 人	31,228 人	83,169 人
平成 24	55,217 人	33,924 人	89,141 人

星田コースで22人が乗車できなかった。
【質問】24年度の乗車人数は、前年度に比べて約6千人も増加している。高齢化が急速にすすむなか、バスの利用者はさらに増える。

【質問】バスに乗車できなかった「積み残し」の人数は、【答弁】平成24年度は、倉治・郡津コースで171人、

交野でも、高齢者が増え続けるなか、ゆうゆうバスの利用者が増加しています。日本共産党は、高齢者・障害者の外出支援のため、バスの拡充をあらためて要望しました。

ゆうゆうバスの拡充を あらためて求める

【質問】24年度の乗車人数は、前年度に比べて約6千人も増加している。高齢化が急速にすすむなか、バスの利用者はさらに増える。市として、真剣に検討してほしい。
【要望】高齢者・障害者の外出支援は、市民の切実な要望であり、バスの拡充をあらためて求める。市としても、真剣に検討してほしい。

【答弁】バスの台数を増やすことだけが、外出支援とは考えていない。他の交通機関のあり方を含めて検討する必要がある。
【質問】他の外出支援策について、何か検討しているのか。
【答弁】いまのところ、検討していない。